

広島県告示第472号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成27年7月27日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都品川区大崎一丁目11番1号 三井金属鉱業株式会社 代表取締役社長 仙田 貞雄
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県竹原市塩町一丁目5番1号 三井金属鉱業株式会社 竹原製煉所

2 申請の内容

62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基及び62 ヘ 非鉄金属製造業の用に供する湿式集じん施設1基を廃止し、62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設4基及び62 ヘ 非鉄金属製造業の用に供する湿式集じん施設1基を設置する。また、汚水等の処理施設1基を設置する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

- (その1) 62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設1基 廃止
- (その2) 62 ヘ 非鉄金属製造業の用に供する湿式集じん施設1基 廃止
- (その3) 新設

種	類	62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設（第1スクラバー）	62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設（第2スクラバー）
能	力	処理風量 30,500 m ³ /時（24時間）	処理風量 31,900 m ³ /時（24時間）

工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		工事後直ちに		工事後直ちに		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		完成後直ちに		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間 (なし)		24時間 (なし)		
	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出される汚水の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		6.5	6.5	8	8
		等	化学的酸素要求量	2,400	2,400	500	500
			浮遊物質	700	1,000	10	20
			窒素含有量	20	20	20	20
			リン含有量	0.1	1	0.1	1
		水銀	—	—	9	25	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		48	240	58	58	
汚水等の排出先		工程水一時処理施設C		工程水一時処理施設C			

(その4) 新設

種	類	62 へ 非鉄金属製造業の用に供する湿式集じん施設 (湿式電気集じん施設)	62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (スクラバー)
能	力	処理風量 81,900 m ³ /時 (24時間)	処理風量 6,000 m ³ /時 (24時間)
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに
	工事完成予定年月日		工事後直ちに
	使用開始予定年月日		完成後直ちに
使	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間 (なし)

用 の 方 法	項 目	通 常		最 大		
		通 常	最 大	通 常	最 大	
排 出 さ れ る 汚 水 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	7	7	6~9	6~9	
	化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	10	15	2	3
	浮遊物質質量		10	10	2	3
	窒素含有量		20	20	12	18
	磷含有量		0.1	1	0.1	1
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		10	10	0.3	0.75	
汚水等の排出先		工程水一時処理施設C		総合廃水処理場		

(その5) 新設

種	類	62 ホ 非鉄金属製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (スクラバー)			
能	力	処理風量 6,000 m ³ /時 (24 時間)			
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	工事後直ちに			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使 用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	24時間 (なし)			
	項 目	通 常	最 大		
排 出 さ れ る 汚 水 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	6~9	6~9		
	化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	2	3	
	浮遊物質質量		2	3	
	窒素含有量		12	18	
	磷含有量		0.1	1	

排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	0.3	0.75
汚水等の排出先	総合廃水処理場	

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 新設

種	類	排水処理施設（工程水一次処理施設C）				
形	式	排水処理施設（硫化・凝集・ろ過・中和）				
主要寸法	（単位：m）	縦7.5×横26.5×高さ5.2				
能力	（汚水処理）	360 m ³ /日				
汚水等の処理方法		硫化・凝集・ろ過・中和				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	工事後直ちに				
	使用開始予定年月日	完成後直ちに				
使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項	処 理 前		処 理 後	
		目	通 常	最 大	通 常	最 大
		水素イオン濃度（単位：水素指数）	6～7	6～7	6～7	6～7
		化学的酸素要求量	2,400	2,400	5	5
		浮遊物質質量	700	1,000	50	100
窒素含有量	20	20	20	20		

	燐含有量		0.1	1	0.1	1
	水銀含有量		9	25	<1	<1
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		106	298	106	298
	汚水等の排出先		総合廃水処理場			

(3) 排出水の汚染状態及び量

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成27年7月27日から平成27年8月17日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部東厚生環境事務所環境管理課並びに竹原市市民生活部まちづくり推進課